



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月27日

上場会社名 エステー株式会社

上場取引所 東

コード番号 4951 URL <https://www.st-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 貴子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 吉澤 浩一

TEL 03-3367-6314

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,473	4.2	2,887	20.0	2,841	16.0	1,981	16.3
2020年3月期第2四半期	24,440	0.8	2,406	22.1	2,448	23.3	1,703	26.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,596百万円 (161.8%) 2020年3月期第2四半期 992百万円 (4.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	89.36	89.27
2020年3月期第2四半期	77.05	76.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	46,573	32,264	68.2	1,432.98
2020年3月期	43,275	30,135	68.5	1,337.42

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,772百万円 2020年3月期 29,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.00		18.00	36.00
2021年3月期		18.00			
2021年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	4.1	3,400	0.8	3,350	0.2	2,300	1.7	103.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	23,000,000 株	2020年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	827,486 株	2020年3月期	847,736 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	22,167,994 株	2020年3月期2Q	22,113,922 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

2020年10月28日(水)に決算説明動画を当社ウェブサイトで決算説明資料とともに開示する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により経済活動が停滞し、インバウンド需要の減少や外出の自粛などにより景気の下振れリスク懸念が高まりました。また、在宅等による生活必需品等への需要の高まりや、緊急事態宣言の解除に伴い外出の自粛の緩和や政府の各種政策により緩やかに個人消費が回復しつつありますが、感染者数の再拡大等の懸念もあり、依然として先行きに対する不透明感は継続しております。

こうした状況の中、当社グループはブランド価値経営の下、今期は「主力ブランドのさらなる深化」「新分野・新市場の探索」「サーモケア 成長への基盤づくり」「海外事業 構造改革」「成長に向けた体制づくり」の5つの重点ポイントに取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により、巣ごもり需要と衛生意識の高まりから全体的に伸長し、254億73百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面では、販売数量増加や主力カテゴリでのコストダウンにより売上総利益が増加したことや、マーケティング費用等の投資を下期へ計画変更した他、外出自粛などで活動経費等が抑制できたことにより、営業利益28億87百万円（同20.0%増）、持分法投資利益などの減少により経常利益28億41百万円（同16.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億81百万円（同16.3%増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしておりますが、カテゴリ別の業績は以下のとおりであります。

エアケア（消臭芳香剤）は、既存主力品の売上安定化と高付加価値品の育成に向けた取り組みを進めております。在宅勤務や外出の自粛要請などの影響による業務用や車用消臭芳香剤の落ち込みや、海外子会社の売上が低迷したものの、「玄関・リビング用 消臭力 Premium Aroma」等の高単価・高付加価値品が堅調だった他、悪臭成分を感じにくくする新技術を用いた新製品「消臭力 DEOX」が貢献しました。また、内食需要の高まりから「脱臭炭 冷蔵庫用」が大きく伸長し、売上高は115億60百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、主力ブランド「ムシューダ」シリーズにおいて機能性向上やデザイン性を重視したラインアップの充実を図る取り組みを進めております。昨年の消費税増税による駆け込み需要の減少や、今秋の衣替えシーズンは残暑により売り場展開が遅れた影響もありましたが、外出自粛中の巣ごもりで衣替えへの需要が拡大したことにより、「ムシューダカバー」等の伸長の他、新製品の「ムシューダ ダニよけ」も貢献し、売上高は54億61百万円（同0.6%増）となりました。

サーモケア（カイロ）は、成長事業の柱としてヘルスケア市場や海外市場への展開を目指す取り組みを進めております。前シーズンの返品は減少したものの、残暑の影響から売り場展開が遅れた結果、売上高は7億88百万円（同9.7%減）となりました。

ハンドケア（手袋）は、機能性とデザイン性を高めることにより、マーケットを活性化させる取り組みを進めております。新型コロナウイルスに対する除菌・衛生意識の高まりや内食需要の高まりから使い捨て手袋が大きく伸長した他、海外での家庭用手袋も伸長し、売上高は31億46百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、競争が激しい市場であるため、差別化によりユーザー拡大に向けた取り組みを進めております。その結果、タンクタイプやシートタイプが好調に推移し、売上高は23億64百万円（同13.6%増）となりました。

ホームケア（その他）は、「洗浄力」ブランドの浸透と国内の新分野へのチャレンジとして商品拡充に向けた取り組みを進めております。内食需要の高まりから「米唐番」が大きく伸長した他、巣ごもりによる需要から「洗浄力 モコ泡わトイレクリーナー」が好調に推移したことや、業務用ルートで持続性のある除菌剤新製品「Dr. CLEAN+（ドクタークリーン）除菌・ウイルス除去スプレー」も発売し、売上高は21億53百万円（同2.6%増）となりました。

カテゴリ	売上高	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	11,560百万円	1.5%増
衣類ケア（防虫剤）	5,461百万円	0.6%増
サーモケア（カイロ）	788百万円	9.7%減
ハンドケア（手袋）	3,146百万円	22.6%増
湿気ケア（除湿剤）	2,364百万円	13.6%増
ホームケア（その他）	2,153百万円	2.6%増

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して32億97百万円増加し、465億73百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加21億50百万円、商品及び製品の増加4億88百万円、投資有価証券の増加7億99百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して11億68百万円増加し、143億8百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加3億2百万円、電子記録債務の増加3億43百万円、未払法人税等の増加3億26百万円、繰延税金負債の増加2億29百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して21億28百万円増加し、322億64百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加15億77百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億89百万円等であります。

以上の結果、自己資本は317億72百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.3ポイント減少し、68.2%となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比較して1億32百万円減少し、99億89百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億76百万円の収入（前年同期は3億78百万円の支出）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益28億81百万円、減価償却費6億39百万円、仕入債務の増加額6億44百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額21億74百万円、法人税等の支払額6億6百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億42百万円の支出（前年同期は29億67百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8億6百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億51百万円の支出（前年同期は3億51百万円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払4億2百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月22日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,159,371	10,022,793
受取手形及び売掛金	5,796,565	7,947,187
商品及び製品	5,902,371	6,390,484
仕掛品	236,790	210,103
原材料及び貯蔵品	1,046,181	1,096,737
その他	510,753	536,911
貸倒引当金	△4,585	△30,745
流動資産合計	23,647,447	26,173,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,588,169	4,500,521
機械装置及び運搬具（純額）	2,257,409	2,097,620
工具、器具及び備品（純額）	320,518	346,886
土地	3,318,945	3,580,324
リース資産（純額）	234,385	203,622
建設仮勘定	80,459	60,205
有形固定資産合計	10,799,888	10,789,181
無形固定資産		
のれん	1,360,830	1,312,228
その他	335,057	375,678
無形固定資産合計	1,695,887	1,687,906
投資その他の資産		
投資有価証券	6,339,178	7,138,356
長期貸付金	5,435	4,905
退職給付に係る資産	8,778	8,971
繰延税金資産	118,630	131,438
その他	660,468	667,079
貸倒引当金	-	△27,938
投資その他の資産合計	7,132,490	7,922,812
固定資産合計	19,628,266	20,399,901
資産合計	43,275,714	46,573,373

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,592,353	2,894,845
電子記録債務	2,614,720	2,957,948
短期借入金	736,199	702,886
リース債務	75,526	36,756
未払金	2,978,376	2,765,420
未払費用	762,602	875,149
未払法人税等	668,632	995,094
未払消費税等	277,162	340,269
返品調整引当金	118,100	78,000
営業外電子記録債務	31,518	183,276
その他	95,432	73,925
流動負債合計	10,950,626	11,903,571
固定負債		
リース債務	91,862	77,573
繰延税金負債	315,474	545,158
再評価に係る繰延税金負債	262,175	262,175
役員退職慰労引当金	114,716	107,591
役員株式給付引当金	76,499	63,753
退職給付に係る負債	1,319,414	1,347,927
その他	9,115	814
固定負債合計	2,189,258	2,404,994
負債合計	13,139,885	14,308,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,041,082
利益剰余金	15,269,715	16,847,566
自己株式	△1,107,935	△1,085,810
株主資本合計	28,295,094	29,868,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,228,295	2,818,232
土地再評価差額金	△537,202	△537,202
為替換算調整勘定	△341,813	△361,926
退職給付に係る調整累計額	△17,558	△14,676
その他の包括利益累計額合計	1,331,721	1,904,426
新株予約権	9,858	5,529
非支配株主持分	499,155	486,513
純資産合計	30,135,829	32,264,808
負債純資産合計	43,275,714	46,573,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	24,440,393	25,473,570
売上原価	13,376,082	13,876,822
売上総利益	11,064,311	11,596,748
返品調整引当金繰入額	91,000	78,000
返品調整引当金戻入額	106,100	118,100
差引売上総利益	11,079,411	11,636,848
販売費及び一般管理費	8,672,464	8,749,682
営業利益	2,406,946	2,887,165
営業外収益		
受取利息	3,497	3,138
受取配当金	78,283	69,882
仕入割引	75,361	79,032
持分法による投資利益	59,592	-
その他	70,171	108,453
営業外収益合計	286,905	260,506
営業外費用		
支払利息	7,211	6,210
売上割引	226,826	242,371
持分法による投資損失	-	7,789
その他	11,404	50,285
営業外費用合計	245,442	306,658
経常利益	2,448,410	2,841,014
特別利益		
固定資産売却益	350	-
投資有価証券売却益	-	68,989
新株予約権戻入益	-	3,978
特別利益合計	350	72,967
特別損失		
固定資産除売却損	16,763	1,288
投資有価証券評価損	-	30,960
特別損失合計	16,763	32,248
税金等調整前四半期純利益	2,431,996	2,881,732
法人税、住民税及び事業税	789,986	913,475
法人税等調整額	△73,161	△54,622
法人税等合計	716,824	858,853
四半期純利益	1,715,171	2,022,879
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,324	41,849
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,703,846	1,981,030

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,715,171	2,022,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△653,053	589,917
為替換算調整勘定	△61,367	△13,672
退職給付に係る調整額	1,744	2,881
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,463	△5,292
その他の包括利益合計	△723,141	573,833
四半期包括利益	992,030	2,596,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,004,370	2,553,734
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,340	42,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,431,996	2,881,732
減価償却費	664,770	639,019
のれん償却額	48,601	48,601
新株予約権戻入益	-	△3,978
固定資産除売却損益(△は益)	16,413	1,288
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	-	△38,028
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,101	54,135
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,312	31,239
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	△7,125
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,915	△12,745
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△15,100	△40,100
受取利息及び受取配当金	△81,780	△73,020
支払利息	7,211	6,210
為替差損益(△は益)	△15,259	△16,929
持分法による投資損益(△は益)	△59,592	7,789
売上債権の増減額(△は増加)	△2,830,299	△2,174,477
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,498,016	△532,726
仕入債務の増減額(△は減少)	489,510	644,366
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	499,219	966
その他	249,458	295,878
小計	△90,162	1,712,095
利息及び配当金の受取額	87,926	77,162
利息の支払額	△6,068	△6,995
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△370,338	△606,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	△378,642	1,176,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52,050	-
有形固定資産の取得による支出	△804,185	△806,725
有形固定資産の売却による収入	99,714	0
事業譲受による支出	△2,040,848	-
投資有価証券の取得による支出	△4,876	△5,261
投資有価証券の売却による収入	-	87,400
子会社出資金の取得による支出	△65,958	△23,564
その他	△99,038	△94,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,967,242	△842,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	148,929	△4,920
非支配株主からの払込みによる収入	-	10,137
自己株式の取得による支出	△88	△272
自己株式の処分による収入	2,838	3,198
配当金の支払額	△401,831	△402,547
その他	△101,827	△56,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△351,979	△451,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47,774	△15,149
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,745,640	△132,748
現金及び現金同等物の期首残高	11,071,984	10,122,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,326,344	9,989,743

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

記載すべき重要な事項はありません。

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。